

雲南病院だより

「第10回病院祭を開催しました」

9月21日(土)に第10回病院祭を開催しました。新型コロナウイルスの流行により令和元年以降開催できておらず、5年ぶりの開催となりました。第10回目となる今年は「みんなで動こう！支え合う地域をめざして」をテーマに職員と病院ボランティアの皆さんが協力して行いました。当日は300人を超える方々が来場されました。

人とのつながりの大切さを感じた基調講演

本館のエントランスホールで開催したオープニングセレモニーでは、グループで音楽活動をされている「石原とゆかいな仲間たち」が出演。バイオリンやギターの演奏、そして歌声で会場は大いに盛り上がり、にぎやかな雰囲気の中で病院祭がスタートしました。

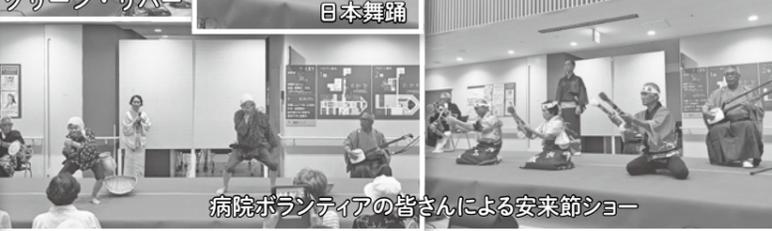
「と題して講演していただきました。猪狩さんはいわき市で医療や介護、人生の最期が尊重される社会の情報発信・イベントの開催をされており、「地域の方々が健康で幸せな生活を送るためには良い人間関係が大切」であると話されました。

「音楽、マジック、ものまねで盛り上がったステージイベント」

午後のステージイベントには地域のサークルなどに出演いただき、ハーモニカコンサートや日本舞踊、マジックショーのほか、毎回恒例の病院ボランティアの皆さんによる安来節ショーが披露されました。

講演を聴講された方からは、「現在、両親の介護をしているので講演の内容が非常に参考になった」、「認知症の家族との向き合い方が変わった」などの感想をいただきました。

ステージイベント



たくさんの方が来場した各種コーナー

正面玄関前では、災害派遣医療チームDMATの活動を紹介する展示や、カフェひだまりや展望レストランをはじめ市内事業者によるジビエ料理やスイーツ、軽食などが楽しめるブースの出店があり、多くの来場者を出迎えました。

また、本館の外来待合室では、病院ボランティア、幡屋地区振興会、ダイバーシティうんなんtoiroの活動を紹介する展示を行ったほか、市立病院の各科による医療体験コーナーや医療技術職場のバックヤードツアーなどを行い、たくさんの方が体験を楽しまれました。

展示コーナー



医療体験コーナー



健康コーナー



新任医師紹介



泌尿器科 医長 すぎたに ともゆき 杉谷 智之

【資格】泌尿器科専門医

島根県立中央病院で従事していました。泌尿器悪性腫瘍、排尿障害、結石などを中心に患者さんへ還元できれば幸いです。よろしく申し上げます。